

せとうちちょう 議会だより

第155号

平成26年11月発行

発行／鹿児島県瀬戸内町議会 編集／議会報編集委員会 〒894-1592 鹿児島県大島郡瀬戸内町古仁屋船津 23 番地



～決算審査特別委員会審査状況（委員会室にて）～



第3回定例会

- ★こんなことを決めました …… P 4～5
- ★一般質問6名が登壇 …… P 6～10
- ★編集後記 …… P 10

こんなことを決めました

第3回定例会

9月4日~18日

第3回（9月）定例会では、決算議案11件、補正予算議案11件、条例改正議案1件、契約議案5件、路線認定議案1件の計29件の議案を審議し、それぞれ可決しました。

また、瀬戸内町選挙管理委員（4名）及び同補充員（4名）の選挙を行い、当選者を決定しました。

なお、平成25年度各会計決算議案については、議長と議会代表監査員を除く8名で構成する決算審査特別委員会（委員長 林 健二、副委員長 鎌田愛人）を設置して審査を行い、最終日に委員長から審査報告がなされ、意見書を町当局へ提出しました。

（次頁に意見書掲載。なお、各会計決算額状況については町広報誌に掲載のため、割愛しました。）

主な議案の要旨は次のとおりです。

一般会計補正予算 (第4号)

各基金に積立金として
5億6536万円

主な内容は、財政調整基金積立金に3億3442万3千円、地方債管理基金積立金に5000万円、公共施設維持管理基金積立金に1億8093万9千円、水道事業会計に繰出金として2000万円、農業振興資金貸付金に200万円、鳥獣被害対策事業費（防止柵）として750万円、橋梁概略点検委託料として800万円、林道災害復旧事業費に3660万円等を追加するものです。

総額7億522万5千円を追加しました。

加計呂麻島 塵芥（ごみ）収集車 売買契約

特定離島ふるさとおこし推進事業で加計呂麻島に塵芥収集車（3トン車）を購入するもので、合資会社瀬戸内鉄工所と736万800円で契約しました。

加計呂麻島 トラクター・ロータリー 売買契約

特定離島ふるさとおこし推進事業で加計呂麻島に農用地開発・造成整備用トラクター・ロータリーを購入するもので、有限会社岩切モーターズと984万9900円で契約しました。

加計呂麻港（瀬武地区） 改修工事契約

主な工事内容は、防波堤（基礎工）基礎捨石VⅡ9429³m³・本体方塊据付け32個、船揚場（地盤改良工）床掘VⅡ955³m³、物揚場マイナス2m³（地盤改良工）床掘VⅡ995³m³、道路（地盤改良工）床掘VⅡ454³m³等を行なうもので株式会社町田建設と1億3262万4000円で契約しました。

26 災道路災害復旧 工事嘉入阿多地線 (1工区) 工事契約

主な工事内容は、復旧延長LⅡ28m、残土処理工VⅡ3770³m³、現場吹付

法粋工A11270mを行
うもので丸福建設株式会社
と6798万6000円で
契約しました。

選挙管理委員

加納 良三氏 (71才)

加藤 文嗣氏 (68才)

花立 弘子氏 (76才)

三島 茂彦氏 (66才)

が当選

選挙管理委員補充員に

宮原 省吾氏 (64才)

福田 久美氏 (60才)

山田 洋一郎氏 (62才)

積野 良朗氏 (60才)

が当選

決算審査意見（14項目）を町へ提出

1. 町税・使用料等の徴収対策に努めるとともに、町有地等の未利用地の早期売却、貸付け等、更には新たな財源の確保に努力されたい。
2. 各種臨時交付金の活用等については、財源組み替え等に留まることなく、交付金の本来の目的が達成できるよう努力されたい。
3. 各特別会計は、一般会計からの繰入金に委ねることなく、特に国民健康保険特別会計の運営については、早期健全化に努められたい。
4. 地域コミュニティ職員（まちづくり協議会）の機能の充実を図るとともに、町民との語る会等を積極的に実施し、町民参画のまちづくりを推進されたい。
5. 陸上自衛隊の配備については、国等関係機関と十分な協議を図るとともに、町民の理解を得られるよう鋭意努力されたい。
6. 国立公園指定・世界自然遺産登録に向けて、町民の環境に対する意識の向上及び機運の醸成（住民説明会等）に努力されたい。
7. 農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮への取り組み拡大を図り、担い手農家の支援育成及び集落営農の推進に取り組まれたい。
8. 我が町の沿岸漁業の衰退ぶりは、近年著しいものがある。漁業従事者の後継者育成、種苗の存続等、各種補助事業・支援事業の充実を図られたい。
9. 6次産業化の推進を図るため、各種施設の整備・運営については関係者と十分な協議のうえ進められたい。
10. 景気対策・地域経済の活性化を図るため、更なる公共事業の導入と企業が新たな産業へシフトできるような情報提供等に特段の努力をされたい。
11. 地域防災計画の見直しを早急に行われ、安心安全なまちづくりに鋭意努力されたい。
12. 消防団の充実強化のため、団員の増と活動環境の整備（設備・資機材の充実）等について、積極的に取り組まれたい。
13. 古仁屋高校の振興対策については、更なる学校の努力と町の支援策の推進を図り、町外生徒の受け入れ態勢の充実と積極的なPR活動に努められたい。
14. 町民の健康増進とスポーツ振興を図るとともに、競技力向上のため体育施設整備の充実に努められたい。

一般質問

第3回（9月）定例会では、6名の議員が町政全般に亘り、質問・提言等を行ない議論を交わしました。一部を要約して紹介いたしますが、記事に関しては、質問議員の責任において掲載しています。

なお、一般質問の詳細については町立図書館にて「会議録」をご覧ください。



中村義隆議員

議員 町長の政治姿勢について

来年6月予定の町長選の出馬はどのように考えておられるのか伺います。

町長 私が瀬戸内町長として就任以来、7年が経過しました。この間、公約に掲げた「自然、文化を生かした住民参加、人づくりのまち」を基本理念に町民主体の町政運営を推進し、公約実現に向けて全力を傾注して参りました。

これからも、これまで築いてきた人脈を大いに活かしながら、新たな行政課題や地域振興並びに住民福祉

向上など本町発展のため、健康面やる気も充分に整っており、来年6月の町長選出馬に向けて全力で取り組んで参りたいと考えています。

議員 観光産業振興について

奄美出身者の多い尼崎市にアンテナショップ開設の検討はできないでしょうか伺います。

町長 尼崎市においては、長年にわたり関西瀬戸内会との連携により、観光物産展を開催し好評を得ております。

アンテナショップにつきましては、定期的な観光物産展を楽しむにしている方々がいることを踏まえ、関西瀬戸内会と協議しながら検討していきたいと考えております。

議員 中心市街地について

1. 中心市街地活性化事業について伺います。

2. 中央通りの街路樹などに「ふるさと納税」を活用したクリスマスイルミネーションの点灯は検討できないでしょうか伺います。

町長 1. 昨年度までも、クロマグロ資源活用などの補助事業導入など、各種国庫補助事業も進めて参りました。

現在、町の地域提案型事業において商工会青年部が主体になり、古仁屋高校の美術同好会の生徒による商店街のシャッターに絵を描く事業を実施しており、先日、第一弾が完成したところです。今後も作成していきたいと思っております。

2. 昨年も、国庫補助事業を活用した街路灯のLED

D化等を進め、街中に明るさと安全性や利便性が向上するなど、一定の効果が見られました。

今後、若手経営者を中心に様々な取り組みをされると思いますが、ご提案頂いたような事業も展開されるようであれば、支援できる範囲で応援したいと思えます。



◆街を明るく◆

古仁屋高校生により描かれた商店シャッターへの絵画

（泉酒店にて）



向野 忍議員

議員 陸上自衛隊配備及び海上自衛隊拡充について

本町節子地区に陸上自衛隊警備部隊、地对艦誘導弾(SSM)部隊の約200人の配備が決定された。

主要施設や部隊配備の内容、スケジュール等について伺います。

町長

主要施設は勤務庁舎・宿舍・体育館・グラウンド兼場外離着陸場・弾薬庫・射撃場。

スケジュールは15年に用地購入及び基本構想策定調査(約6千万円)。

その他のスケジュールに

については未定。18年度の部隊配備を目標に準備を進めております。



陸上自衛隊配備予定地一画の節子土捨場跡地

議員

商工会より「部隊の施設配備について、地元の建設業者、製造業、卸小売業、サービス業等の工商业者が優先的に受注機会を得られるよう町当局へ働きかけて欲しい」との陳情が出され議会はこれを採択した。

町長としてどの様に対応するか伺います。

町長

陳情はしっかりと受

けとめました。地元優先。経済効果にも大いに期待しているのです、そのように対応したい。

議員 農業の振興について

これまでの「水土里サークル活動」に代わる新制度「多面的機能支払交付金」の目的、構成、対象組織、対象活動等について伺います。

町長

①目的 農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動の支援を行い、地域資源の適切な保全管理を推進します。

②構成 農地維持支払交付金(農地法面の草刈り、水路の泥上げ、農道の路面維持等)と資源向上支払交付金(水路、農道等の軽微な補修、植栽による景観形成、施設の長寿命化のため

の活動等)から構成されます。

③対象組織 活動組織が広域活動組織を設立。農業者のみで構成される組織又は農業者及び地域住民で構成される組織です。

④対象活動 地域資源の基礎的な保全活動と地域資源の適切な保全管理のための推進活動です。

議員

今後の新制度への移行計画について

町長

①平成26年度から移行する活動組織は、嘉鉄地区、篠川地区、久慈地区、秋徳地区。

②平成27年度からは、請阿室地区、池地地区、与路地区、野見山地区。

議員

安心・安全なまちづくりについて

消防団の充実強化について

て、消防庁の推進する「消防団協力事業所制度」等導入し、団員の増と活動環境整備を図るべきと思うが町長の見解を伺います。

町長

広報誌に掲載し協力事業所の申請を募りたいと思います。



元井直志議員

議員

トンネル化の計画について

阿木名く勝浦間、西阿室く瀬相間のトンネル計画の可能性について質問します。

町長

国道58号線の阿木名勝浦間トンネルの可能性については、現在、工事中の

箇所を優先的に進めて行く
と聞いておりますが、通学
路でもありますので、今後、
県と協議して参りたいと思
います。

西阿室く瀬相間のトンネ
ル建設については、これま
で町道のトンネル建設の実
績はなく、財政的に事業導
入が可能なのか、採択要件
を含め関係機関と協議する
必要があると考えます。

議員 嘉徳の滝の遊歩 道整備について

嘉徳の滝への遊歩道整備
についての考えはどうか質
問します。

また、嘉徳海岸は旧来より
砂山による防波堤ですが、近
年、砂の減少により浜入下り
られない状況です。

この対策としてコンクリ
ート階段の設置が考えられ
ますが、可能性はどうか質問
します。



砂浜の減少により防風林の根が
剥き出しになっている嘉徳海岸

町長 本町を含む奄美群島
が「世界自然遺産登録」に
向け取り組んでいる状況の
中、自然環境の保護が優先
事項であるため人工物の建
築については慎重に行うべ
きだと考えており、遊歩道
整備が可能なのか検討した
いと思えます。

また、嘉徳海岸は一般海
浜地で県の管轄となってお
り、県関係機関と協議を行
っているところです。応急
対策として昇降路の整備を
行っております。

議員 瀬戸内町の堆肥 利用について

瀬戸内町の農業は低迷し
ていると考えられる。その理
由の一つとして、堆肥等の生
産が十分でないと考えてい
ます。

今後、堆肥生産する可能性
があるのか質問します。

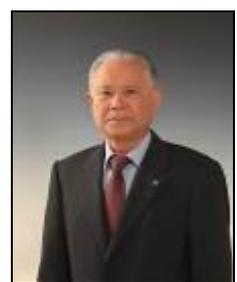
町長

近年、家畜糞尿等の
農業廃棄物の適切な処理が
重要視されているため、効
率的な堆肥処理システムの
確立と土づくりを推進する
うえでも、堆肥生産は重要
であると認識していますが、
堆肥生産施設建設後の維持
管理、運営費等を総合的に
判断すると堆肥生産施設建
設は、考えておりません。

その他の質問

◆自衛隊誘致活動について

規模
④ 配置検討主要施設は、
勤務庁舎・宿舎・体育館・



岡田弘通議員

議員 陸上自衛隊の配 備について

今後の部隊配備及び施設
整備の具体的なスケジュール
について伺います。

町長

陸上自衛隊配備につ
いて、平成26年8月に武田
防衛副大臣が来町され、報
告された内容については、
① 場所は、節子地区（町
有地）
② 配備部隊は、陸上自衛
隊警備部隊・地对艦誘導弾
ミサイル（SSM）部隊
③ 配備人数は、200人

グラウンド兼場外離着陸
場・弾薬庫・射撃場
⑤ スケジュールは、平成
27年に用地購入及び基本構
想策定調査（約6千万円）、
その他のスケジュールにつ
いては未定であります。平
成30年度に部隊配備を目
標に準備を進めております。

議員 陸上自衛隊配備によ
る本町の活性化対策をどの
ように考えているのか伺
います。

町長 陸上自衛隊配備によ
る活性化対策については、
部隊配備までの3年間に
ついては、建設予定箇所の用
地整備・勤務庁舎・宿舎・
体育館・グラウンド兼場外
離着陸場、弾薬庫・射撃場
などの施設整備など本町の
建設及び建築事業所への事
業発注などが期待されます。
また、200人の隊員の

配備が決定しておりますが、

自衛隊員の家族を含めると400人から500人程度の人口増が予想されます。

それに伴い、地元商店街の経済活動が促進されるのは勿論、自衛隊関連の雇用が生まれると共に新たに起業が促進されるなど、地域経済への影響は多大なものが期待されます。

組みについて伺います。

町長 世界自然遺産登録に向けての現在の状況につきまして、その前提条件となる「国立公園」の指定について、当初の目標よりかなり遅れが出てきております。

平成28年夏の「世界自然遺産登録」実現は難しく、平成29年以降になる可能性が高いことが報道されました。今後目標達成のために、より一層の協力体制が必要と考えております。

8月末から「加計呂麻地区」において、「国立公園・世界自然遺産登録」についての住民説明会を始めておりますので、今後、他の地区においても計画していきたいと考えております。

また、広報紙やホームページ上で現状について随時啓発を行い、関係機関・市

町村と協力して、「世界自然遺産登録」という大きな目標達成のため努力していかねければならないと考えております。

議員 世界自然遺産拠点施設の整備については、屋久島環境文化財団的な県主体の拠点施設と国営の世界自然遺産センターを本町へ誘致すべきでないか。

町長 南部3町村（大和村、宇検村、瀬戸内町）で、本町要望事項として県へ要望してまいります。



環境省により設置された知床世界自然センター ～斜里町ウトロ～



池田啓一議員

議員 現在は死語となっておりますが、「公僕」と言う言葉があります。

「常に町民の明日を憂い、謙虚な心で町民の声を聴き、施策を講じて生活の向上を図る。私利私欲があつてはならない」

また、町民は「自分の言葉に責任を持ち、勤労を良しとし、地域に和を持って生きる」誠の姿だと思えます。

施政方針のトップは、毎年『住民参加（参画）のまちづくり』を基本理念として『と、美しい文章で飾られていますが、中身が見えません。』

このような観点から、次の事を質します。

六次産業の振興について

「加計呂麻物産館・直売所」は、今後の農業振興にとっても大事なことです。計画を伺います。

町長 加計呂麻物産館を中心に関係者が一体となって、地域の優れた資源を活かし、地域雇用の確保と所得向上による加計呂麻島の活性化を目指したいと考えております。

その他の質問

★災害に強い町づくりについて

★共生・協働のまちづくりについて

★自衛隊誘致について

議員 世界自然遺産登録について

現在の状況と今後の取り



鎌田愛人議員

議員 防災について

先般9月7日の6時50分に鹿児島県、鹿児島地方気象台より、「土砂災害警戒情報」が本町へ発令されたが、防災無線で放送するまで1時間以上も住民に情報が伝達されなかった、あまりにも時間が空きすぎではないのか。

町長 私も町からの防災無線放送を聞いて、役場に行った。時間のズレがあったと思う、これからちょっとでも短縮するよう努力したい。

議員 防災無線放送を聞いて

て、町長が役場に出勤するのではなく、「土砂災害警戒情報」が発令された時点で町長に報告すべきであったのでは。

町長 今回は来てなかった、私の携帯電話が止まっていたかもしれない。

消防分署長 確かに6時50分に「土砂災害警戒情報」が出ています。放送して住民をパニックにさせるより、確実な情報をつかんで放送することが行政として必要である。

議員・意見 「土砂災害警戒情報」の後には、避難勧告とか段階がある、「土砂災害警戒情報」は早めに町民に知らせるべき。

町長 防災対策本部長であるので、今後改善すべきところは、これを教訓にして危

機感をもって災害対策に取り組んでほしい。

議員 陸上自衛隊配備計画について

期待される効果は

町長 大規模災害時の即応能力のある部隊配備により、町民の安全・安心が確保される。

施設整備に係る建設及び建築等の事業発注。人口増による地域経済の活性化が期待される。

議員・意見 議員も行政も住民も自衛隊が配備されたことによつてすべて良くなるという甘い考えではなく、

一次産業を含めた産業の振興を図っていくべき。自立・自立・自興の精神を忘れないようにしなければいけない。

議員 観光振興について

①海の駅前バス停へ、雨よけ、日よけのシェルターを設置すべきでは。

②海の駅内にある観光協会事務所とフロワーの間に壁があるが、これでいいのか。

町長 ①県との協議、バス事業者との利便性の確認等、様々な協議を行う必要があると思います。

まちづくり観光課長

②以前も観光客から苦情もあり改善の申し入れをした。再度、改善するよう協議したい。

★その他の質問

・フルーツリズム、グリーンツリーリズムの現状と課題について

編集後記

◆「地方創生」の議論が始まりました。

この法案は人口減少に歯止めをかけ、地域向けの施策を総合的に実施するのが目的です。

◆国立の研究機関によると、本町の2040年の将来推計人口は、5990人で約半数が65歳以上になるとのことです。

◆自民党で地方創生本部の要職にある地元の金子代議士と共に、町当局と議会・住民が一体となり、瀬戸内創生に向け取り組んでいきたいと思います。(鎌田)

議会報編集委員会

委員長	林 健一
副委員長	鎌田 愛人
委員	安 和弘
〃	岡田 弘通
〃	池田 啓一
〃	吉見 洋和